



**10** 月8日、主要地方道大更八幡平線沿いの明治百年記念公園で、小水力発電所が回り始めた。総工費は5670万円で、補助金や合併特例債を活用し、市の負担は約117万円の見込みだ。

発電所は開放型下掛け水車と呼ばれる形式で、直径3・6mの水車には、羽根が36枚付いている。最大出力は9・9tで、11月からの冬期間を除いた7カ月間稼働し、約14世帯の電力に相当する4万9896kWhの電力を生み出す。発電量は決して多くはないかもしれないが、同程度の発電所を今後も設置できる可能性を実証することができた。そして何よりも、環境学習の教材として、また、環境に優しいまちづくりのシンボルとしての役割も期待されている。

3月11日、未曾有の災害が日本を襲った。地震や津波のため、発電所や送電施設が被災し、電気が長時間止まった。震災後には関東などで計画停電が行われ、夏には全国で節電を実施した。夏以上に電力不足が心配される冬の足音も近い。国は、これまでのエネルギー政策を見

直し、再生可能エネルギーを今後積極的に推進することになった。再生可能エネルギーとは、太陽光、風力、地熱や水力など、自然環境の中で繰り返し起きている現象や、比較的短期間で再生されるバイオマス（植物など生物由来の資源）など、一度利用しても再生可能な、枯れることのないエネルギー源の総称で、化石燃料（石油、石炭、天然ガスなど）やウランといった埋蔵資源を利用する枯渇性エネルギーとは異なり、環境にも優しく、世界的にも利用が増加している。

八幡平市は、再生可能エネルギーの宝庫だ。今回完成した小水力発電所のほかにも、日本初の松川地熱発電所をはじめ、5基の水力発電所（北ノ又、北ノ又第二、北ノ又第三、松川、柏台）がクリーンなエネルギーを供給している。

再生可能エネルギーに対する八幡平市の取り組みはこれからも続く。これまでに設置した発電所に加え、新たな地熱発電所建設に向け、歯車は動き始めている。八幡平市の豊かな自然は、日本の未来を照らす一翼を、今後も担っていくだろう。

明治百年記念公園に小水力発電所が完成

# 環境に優しいシンボルまた一つ

CONTENTS

- 目次
- 02 **Zoom Up** 人 瀬川 文香さん
- 03 **Front Topics** 小水力発電所完成 環境に優しいシンボルまた一つ
- 04 平成22年度決算
- 06 人事行政運営状況
- 08 **Event** 八幡平山賊まつり
- 09 **Sports** 各種スポーツ大会成績
- 10 **特集** リフォームトラブルにご用心
- 14 震災発生から8カ月 復興支える市民のチカラ
- 15 **NEWS&INFORMATION**  
男女共同参画フォーラム開催  
人権擁護委員、新品種の名称募集
- 16 **話題ピックアップ**  
ぶらっと一日体験工房まつり／戦没者追悼式／小学校音楽発表会／第7回あしるオリンピック ほか
- 18 **福祉ネットワーク**  
保健のひろば 環境のみらい  
介護のココロ
- 19 **まちの企業探検隊②**  
みちのくココ・コーラボトリング  
榊西根営業所  
われらスポーツ少年団No.17  
大更サッカースポーツ少年団
- 20 博物館だより 図書館だより
- 21 よろこび おくやみ  
人口の動き 交通事故件数など  
広報クイズ
- 22 **INFORMATION** お知らせ
- 24 八幡平いにしへの宝  
井森の大イチョウ



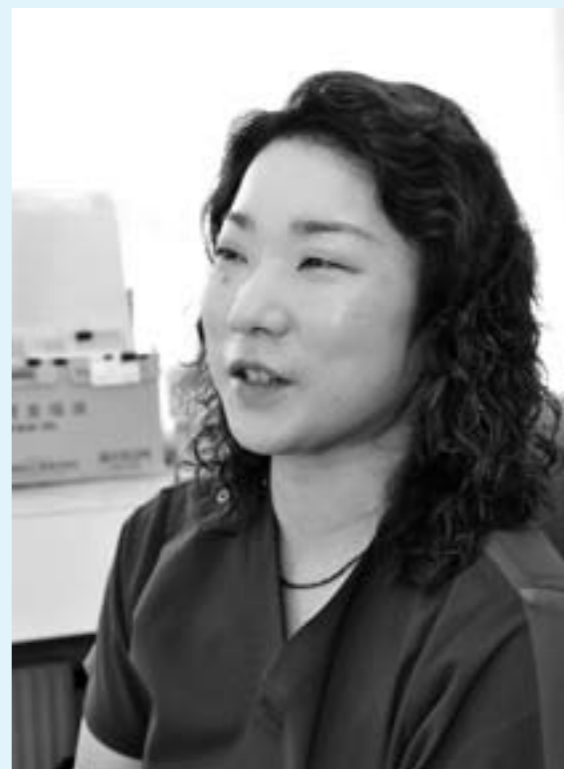
今月の表紙

10月15、16の両日、岩手山焼走り国際交流村で、第5回岩流まつりが開催されました。16日に行われた名物・6びきのこぶたレースでは、なかなか思うように走ってくれない子豚を相手に、参加者たちは悪戦苦闘。会場の笑いを誘っていました。

国保西根病院内科医長

## 瀬川 文香さん

せがわ・ふみか 35歳 盛岡市本町通



◎profile

昭和51年花巻市生まれ。盛岡第一高校、岩手医科大学を卒業し、同附属病院消化器・肝臓内科に勤務。県立宮古病院などを経て、10月から西根病院に。身長158cm。血液型A型のしし座。

## 飾らない性格で患者一人一人と向き合う

**花** 卷の実家は酒屋だが、兄も医師という環境の中で、自分も自然と医師への道を歩んだ。

昨年秋、勤務していた岩手医大附属病院から県立宮古病院に派遣された。半年間の勤務も残り3週間というその時、大地震と津波が襲ってきた。瀬川医師は、自然の猛威の恐ろしさを肌で感じながら、全国からやって来た応援の医師らとともに、住民の治療に当たった。4月からいったん岩手医大附属病院に戻り、10月1日から、縁あって西根病院

の内科医長を拝命した。「特に趣味といえる趣味はないですよ」と言いながらも、趣味の欄には「野球」と一言。野球観戦のことかと思いきや、バリアリの体育会系で、中学校ではソフトボール部で汗を流した。高校時代はソフトボール部がないという理由で野球部に所属し、男子部員と一緒に白球を追った。体を動かすことが好きな性格は今でも変わらない。八幡平市についての印象も「自然が多く、温泉が好き」。数多い市内の温泉を全て制覇する日

も、そう遠くはないだろう。尊敬する人を探ねると、少し考えて竹鶴政孝という答えが返ってきた。寿屋（現在のサントリー）山崎蒸溜所初代工場長として日本初のスコッチ・ウイスキー製造を指揮し、その後、ニッカウヰスキーを創業した人物である。なるほど、酒屋の娘らしい。

飾らない性格で看護師や患者との会話を楽しむ一方、盛岡に近いという地域性を踏まえた医療の在り方を考えながら、今日も患者一人一人と向き合う。